

診療現場におけるAI診療導入によるこれからの懸念

外科系学会社会保険委員会連合会長 岩中 督

- AI診療導入に向けた取り組みが一部の診療領域で進みつつある
 - 「保健医療分野におけるAI活用推進懇談会」では、AI開発を進めるべき6領域を選定
 - うち、画像診断支援の領域では6学会がAMEDで研究・開発中
 - 欧米ではすでに一部で臨床試用が始まっている
- 一方、AI診療が導入された場合に診療現場でどのような課題や懸念が生じるかについて、具体的な議論はこれからである
- 診療現場で生じる様々な課題に対して発信を行っている内保連・外保連という団体から、これから生じるであろう具体的な課題について提案を行いたい

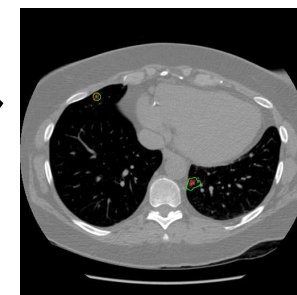
診療現場におけるAI診療導入によるこれからの懸念 医療現場での適切なAI技術の使用推進に向けて

- 現状

- すでに一部の領域で臨床導入が始まっている
(例)肺結節検出支援ソフトウェアが薬事認証済(AMED)

- 今後

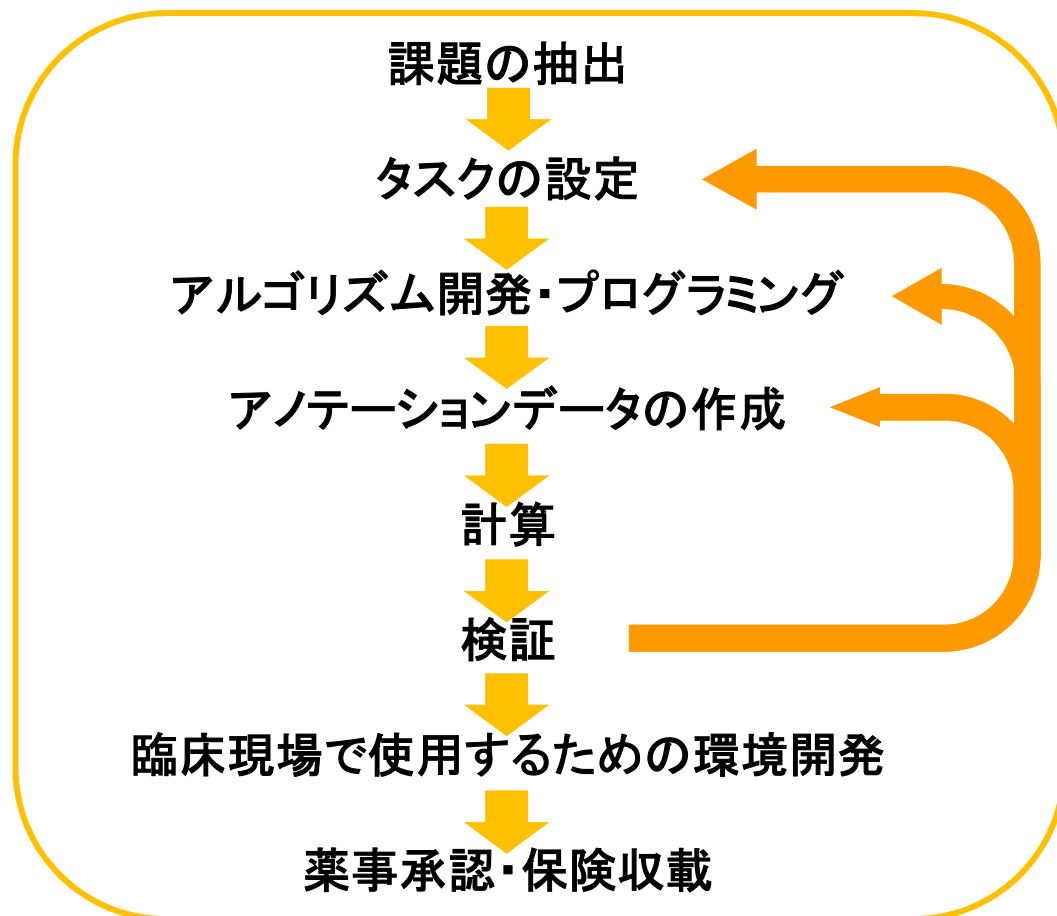
- 診断領域・手術支援領域などで臨床導入が進む
- 臨床導入に向けては医師主導の開発が不可欠
 - 臨床に必要な目的・課題の設定
 - 適切な臨床データの使用(画像、病理、手術支援など)
 - 感度・特異度・AUCなどの把握と精度管理
 - 解析結果の適切な解釈
 - 病態や医学的背景を考慮した患者への適切な説明
 - その他
- 臨床導入による医師負担の評価と働き方へのフィードバック



プラスマン社
プラスラングノジュール

診療現場におけるAI診療導入によるこれからの懸念 AI技術の研究開発を推進する体制整備

AIの開発の実際



開発しやすい体制整備が重要

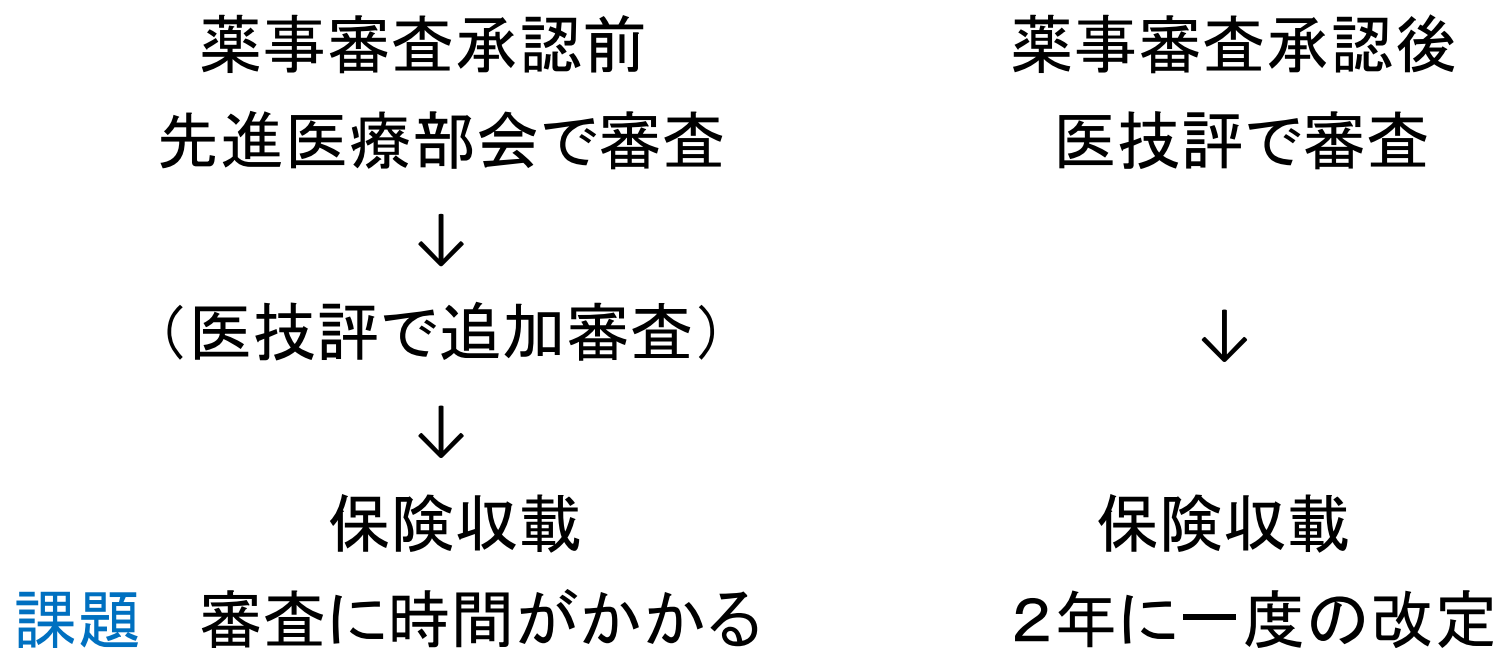
データを集めやすい
データプラットフォームの整備



多くの段階で医師の
主体的関与が必要

診療現場におけるAI診療導入によるこれからの懸念 診療報酬の観点から

- スピード感のある薬事審査・保険収載のあり方
 - 先進医療部会で評価？
 - 医療技術評価分科会(医技評)で技術審査？



診療現場におけるAI診療導入によるこれからの懸念 診療報酬決定の現状とAI診療の報酬の在り方

医療技術の診療報酬決定の現況

(1) 外保連試案

- 診断・治療の技術度
 - 実施に必要な人員数
 - 実施に必要な時間
- 人件費(A)
- 包括され償還されない医療材料費・薬品代など(B)
(必要な高額医療機器の1回当たり使用料(C))

(2) (A) + (B) で新規技術の提案書を医技評へ

(3) 他の類似技術を参考に診療報酬を決定

(C) の評価にあたっては明確な基準の公表はない

→ 技術度が下がれば診療報酬は減額

→ 人手や時間が減れば診療報酬は減額

診療現場におけるAI診療導入によるこれからの懸念 臨床現場における検証の在り方

- 医療機器としての品質・有効性の検証の必要性
 - 既存の医薬品医療機器等法で対応できる？
 - 医薬品医療機器制度部会で審査？
 - スピード感のある審査が可能？
 - AI医療機器の進歩は加速度的
 - 診療報酬改定の合間でも議論が必要
- AI診療技術としての有用性の検証の必要性
 - 臨床現場における有用性の検証は？
 - レジストリで行う？
- 働き方改革上は確実に医師補助・医師支援となる

どのようにしてPDCAサイクルを回すか？

診療現場におけるAI診療導入によるこれからの懸念 実際の導入に向けた課題

- AI診療を導入できない医療機関
 - 患者の集客ができなくなる？
 - 過去のCT・MRIなどの過度の導入実績
 - ロボット支援機器*da Vinci*導入の現況
 - 赤字覚悟で導入する必要性？
- AI診療の誤診や治療ミスの責任体制は？
 - 現時点でのコンセンサスはAI診療はあくまでも支援機能
 - 最終判断は医師が行う
 - 医師の責任
 - AI医療機器メーカーの責任は？
 - AI診療が医師の経験・判断に勝る可能性は？

内保連・外保連の意見

- コンソーシアムでの検討結果を具現化する学術団体代表による検討会の設置が必要ではないか
 - 内保連・外保連共同で作業部会を稼働させたところ
 - 日本医学会連合などのアカデミックな団体においても今後検討を開始
 - 可能であれば行政が所管する検討会(WGなど)の設置を
 - 実際にAI診療の導入が喫緊の診療領域の委員を中心に領域横断的で具体的な議論を期待
 - 内保錬・外保連などの実務者も参加
- 欧米などではすでに一部のAI診療が導入開始
- 加速度的に進むAI診療に、我が国としても後れを取らない対応が不可欠
- 産業界の支援を受け医師主導でのAI診療導入
- コンソーシアムの工程表に実装し、具体的な作業を早急に！